

緩和ケア病棟の研修を修了しました

研修医2年目の大内先生が、緩和ケア病棟での1か月の研修を終えられました。患者様にとっても優しい爽やかな先生と、スタッフからも患者様からも高評価でした。緩和ケア病棟のスタッフから、修了書と手作りメダルが贈られました。「緩和ケアで学んだことはどこに行っても必ず役に立ちます。みんなで応援しています！後期研修もお待ちしておりますね！」という励ましのメッセージも贈られました。



職場紹介

3病棟

3病棟は小児科と地域包括ケア病床がある病棟です。看護師、看護補助者、事務の計34名で、日々の看護ケア・業務を行なっています。

小児科では、病気で不安な子供達や親御さん達の気持ちが少しでも和むように心掛けています。また、地域包括ケア病床では、患者様一人一人の様々な生活背景を把握し、退院後もその人らしく生活を送ることができるよう多職種で連携しながら退院支援を行なっています。



その他にも、現在は新型コロナウイルス感染予防のため中断となっていますが、院内の認知症患者を対象に週1回認知症デイケアを開催し、看護師や看護助手と一緒に作品づくりやゲームをして楽しんでいます。たくさん笑顔に患者様も私たち職員も喜びを感じる時間になっていたので、再開できる日を心待ちにしています。

これからも、患者様の思いに寄り添い安心して入院生活を送って頂けるように頑張っていこうと思います。

高松平和病院ニュース

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL.087(833)8113(代表) HPアドレス: <http://www.t-heiwa.com/>
発行責任者: 高松平和病院 院長 蓮井宏樹 編集: 広報委員会 発行年月日: 2020年8月25日

病院長ご挨拶



高松平和病院
病院長 蓮井宏樹

新型コロナウイルス感染対策に多くの人が懸命の努力を行い、その結果諸外国ほどの感染爆発・医療崩壊と言われる状況には至らず、緊急事態宣言の解除後再び社会が動き出しています。しかしまた、それに伴い再び感染者が増加してきているのが現状です。

医療従事者もリスクと向き合いながら感染者の診断・治療、拡大防止など大きな役割を果たしてきました。当院では新型コロナ患者の入院は受け入れていませんが、地域の行政・医療機関と連携を取りながらPCR検査や抗原検査を積極的に行い、感染防止対策に努めてきました。

一方で新型コロナの感染拡大で外出自粛や院内感染の恐れから大規模な受診抑制が発生し、医療機関の経営危機が進行しています。医療3団体が5月に実施した調査では、新型コロナの患者が急増した4月の収入は前年比10.5%減、利益率は1.0%からマイナス9.0%に減じた、とくにコロナの入院患者を受け入れた269病院では収入が12.7%減となり、利益率はマイナス11.8%に達したとのこと。5月はこれよりもさらに経営状況は悪化しています。介護分野でも全国介護者事業連盟が行った調査で多くの介護事業所で減収となっています。もともと医療機関や介護事業所の経営状況が

厳しかった中でのさらなる追い打ちで、このままでは資金繰りから経営難に陥り、民間病院・診療所の閉鎖、介護事業所の倒産や事業からの撤退となりがねない事態です。

コロナ感染は長期化し、根強い備えが必須の状況で、経営難による医療・介護提供体制の弱体化から感染爆発・医療崩壊も危惧されます。保団連や日本医師会、歯科医師会等も国に対して、医療体制の強化・地域医療の確保のため国の責任で減収を補償していくことを求めています。(自治体によってはすでに医療機関への支援金を決めているところもあります。)また、格差や貧困が拡大する社会において、大きな経済的打撃によりますます生活が困難となり、身体的・精神的に変調をきたし、さらに受診控えなどで健康を害する方が増えています。(コロナ感染の報告が少ない岩手県でも4月の超過死亡(死者が7.8%増)がみられています。)生活支援を含むコロナ関連の対策強化とともに、これまでの患者の負担増や診療報酬の抑制、病床や人員などの医療提供体制の削減をすすめる医療費抑制策を抜本的に見直し、誰もが安心して利用できる医療・介護、福祉の拡充が今こそ強く求められます。

当院はひきつづき地域の方々と協同して、コロナ禍中でも安心してかかれる医療の実現を目指して、平和で安心して暮らせるまちづくり、健康づくりに貢献していきたいと考えています。今年度も皆様のご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

高松平和病院 理念

1. 患者の権利を守り常に信頼される医療を提供します。
2. 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
3. 平和と医療、福祉を守ります。

2019年度胃カメラ件数3371件新記録達成

内視鏡室スタッフは、「またここで検査を受けたい」と思っていただけでも、全般にわたる丁寧な説明や検査中の不安の除去のためのケア等努力をしています。定期検査を受けていただけよう患者様にお知らせのお手紙を送っています。

今年も患者様が安心満足して検査を受けていただくために、内視鏡室スタッフ一同頑張っていきます！



新入職員が入職しました!

令和2年4月1日、高松平和病院に新入職員が入職しました。今年度は、今年度は、看護師5名、看護助手5名、作業療法士1名、事務1名の計12名の職員を新たに迎えました。

やる気と希望にあふれた新入職員達が、医療人・社会人としての知識と経験を積み、配属先で活躍できるよう職員一同、心を新たに頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



2020年度 高松市特定健康診査のご案内

【期間】7月13日(月)～10月31日(土)

【対象者】高松市からの「特定健康診査」受診券をお持ちの方

【費用】今年度は、対象者全員**無料**です

※受診券と保険証をご持参ください。

【健診診療時間】予約不要です

受付時間	8:30～11:30	13:30～14:30	14:30～16:30
月	○	◎	○
火	○	×	○
水	○	×	○
木	○	×	×
金	○	×	○
土	○	×	×

◎は健診担当の医師がいます。

特定健診はメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防に重点をおいた健診です。メタボリックシンドロームとは内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳血管疾患などの動脈硬化性疾患をまねきやすい状態です。健診を受けることで、メタボリックシンドロームを早期発見、予防することが大切です。

高松平和病院ではオプションとして、胸部レントゲン直接撮影と

ポリグラフ脈波検査を用意しています。

組合員価格(税込)

胸部レントゲン 1,000円

ポリグラフ脈波 1,000円

※ポリグラフ脈波は、月・火・水・金の午後のみ

このほかの時間帯に特定健診を受けられた方も、10月末まででしたら後日ポリグラフ脈波のみお受けいただけます。



ポリグラフ脈波とは・・・血管年齢、血管の硬さ、血管の詰まりを調べる検査です。両手両足に血圧計のようなものを巻いて計測します。10～15分のできる検査です。足の痛みやむくみ(腫れ)の気になる方・高血圧の方にお勧めです

★高松市がん検診

※各種がん検診等受診券をご持参ください

種別	(※基準日:令和2年4月1日)	実施期間	費用 (受診券等で確認下さい)
大腸がん検診(便潜血検査)	40歳以上の人	7～10月	500円(70才以上無料)
前立腺がん検診(血液検査)	50歳以上の男性	7～10月	(70歳未満)1,200円 (70歳以上)600円
胃がん検診(個別)	50～69歳で偶数年の人	7～10月	受診券等で確認下さい 受付窓口で予約→後日検査
乳がん検診	40歳以上で偶数年齢の人	7～2月	(40歳代)2,500円 (50歳代以上)2,000円 (70才以上無料)

※事前予約制(電話予約可)